

令和5年度 国立若狭湾青少年自然の家 教育事業

「ぼくらは勇者だ！わかさわんキッズ冒険隊」(令和5年7月22日(土)～23日(日))

◆目的

- ・ 若狭湾での自然観察を通して、海と山のつながりについて考える。
- ・ 自然の中でさまざまなチャレンジをすることで、自分にできることや友達の良さを見つける。

◆参加実績

小学1年生～3年生(24名)

1年生 8名(男4 女4)

2年生 8名(男4 女4)

3年生 8名(男4 女4)

(応募者数 135名)



集合写真

◆講師

名古屋ECO動物海洋専門学校 白井 芳弘 氏 (以下：白井氏)

◆事業サポート

若狭湾ボランティア 5名 (以下：ボラ)

名古屋ECO動物海洋専門学校 12名 (以下：学生)

◆日程

7月22日(土) 1日目

10:00	10:30	10:45	11:45	13:30	16:00	17:00	18:10	19:30	20:30
集合・受付	開会式	アイスブレイク	昼食	海と山のたんけん(生き物かんさつ)	お部屋の準備・休けい	夕食	入浴	海と山の生き物のお話	就寝

7月23日(日) 2日目

6:00	7:00	7:20	8:15	9:30	11:45	12:30	13:15	14:30	14:45
起床・清掃	朝のつどい	朝食	準備・着替え	海の中をのぞいてみよう!(スノーケリング)	着替え	昼食	ふりかえり	閉会式	解散



アイスブレイクの様子



白井氏による
生きものの解説



スノーケリング活動

◆成果

- ・ 海や山で遊ぶことの楽しさを知り、今回のテーマである「海と山のつながり」を学ぶ良い機会となった。
- ・ 白井氏と連携し、海と山のそれぞれの生きものの特徴や生態について詳しく学ぶことができた。白井氏が作成した「わかさわんはっけんノート※1」を使用し、海と山（沢）の様子や採取した生きものについてまとめる時間を活動前後で設けたことで、子ども達それぞれの言葉で、発見した生きものや山の様子などを整理することができた。
- ・ 1日目の「海と山のたんけん」では、学生やボラが子ども達の近くで生きものの解説や安全管理に関わったことで、子ども達の疑問をその場で解決し、数多くの生きものと触れ合うことができた。
- ・ 2日目の「海の中をのぞいてみよう！（スノーケリング）」では、積極的に足のつかないところまで泳ぐ子ども達もあり、全身で海を楽しむ姿が見られた。スノーケリングと磯観察に分けて活動をおこない、子ども達の様子に合わせて活動場所を選ぶことができるようにした。
- ・ 生活面では、自分でやるべきことを考え行動することや、班の仲間と声をかけあいながら助け合う様子が多くみられた。
- ・ ボラや学生も、2日間の子どもの生活指導に関わったことで、子ども達との関わり方や安全管理の方法などを学ぶことができた良い機会になったと考える。
- ・ 気温が高く熱中症も懸念されていたが、活動前後でこまめに休憩や水分補給の声掛けをおこなったことで、体調不良者等を出さずに2日間の活動を実施することができた。

わかさわん はっけん ノート
～わかさわんの「森のひみつ」を見つけよう！～

登場人

みんなで、森の中をあるいてみるよ！
わかさわんの「森のひみつ」を見つけよう！

1つ目は、「あかやう」。
入ると、森の「あかやう」がわかったかな？

それでは、なぞだらう、かんがえてみよう！

2つ目は、「れいれい」。
森をあるくと、何か「れいれい」がするね！ どんな「れいれい」かな？

その「れいれい」がするところ、さがしてみよう！

うらめんもあるよ！

水がながれているところを「きわ」といいます。
ここに、2つ目の森のひみつがあるんだ。
ここでは、「いきものさがし」をするよ。

見つけた「いきもの」をかいてみよう！

見つけた「いきもの」どんなひみつがあるのか、先生にきいてみよう！

※1 わかさわんはっけんノート

◆参加者の声

- ・ 生きものをいっぱい捕まえられるようになった。
- ・ 海の中でヒトデを探すのを頑張りました。
- ・ 海の生きものに触れ合うことが楽しかった。
- ・ 沢にいる生きものを捕まえるのを頑張った。
- ・ 布団を片付けるのをみんなで協力した。
- ・ 海で友達を助けられた。
- ・ 初めての友だちと仲良くなれた。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・ 事業の目的を達成するため、山から海に向かってながれを学ぶプログラム構成とした。昨年に引き続き白井氏をお招きし、1日目は岩の沢で山に関連する生きもの、2日目はスノーケリングで海にいる生きものの観察をおこなった。
- ・ 1日目の「山」については活動場所の岩の沢に行く前、2日目の「海」については夜の生きもののお話の時間で海と山のお話を取り入れた。
- ・ 「海と山の生きもののお話」の時間では、各班に1つ水槽やタライを用意し、海と山で見ることのできる生きものを間近で観察できるようにした。学生にもサポートしていただき、一つひとつの生きものを詳しく学ぶことができた。
- ・ 2日目のスノーケリング活動では、昨年と同様、小学生2人に対して学生1人が必ず付くようにした。子ども達によっては泳力の差や海での活動に不安を感じている参加者もいた。事前に子ども達の海活動の経験の有無を保護者から確認しておくことで、子どものペアと学生・ボラの配置を考える際に参考にできたと考える。
- ・ 各班にボラを班付きで1名、学生を3名ずつ配置し、子ども達の活動や生活の補助をおこなったことで、安全に活動を進めることができた。
- ・ ボラ主体でアイスブレイクを実施した。子ども達同士やボラ・学生が交流を深めることができたが、低学年向けのレクリエーションを事前にボランティアに対してレクチャーする時間を多く確保できなかったため、今後の事業では事前に打合せをして当日を迎えることができるようにしたい。
- ・ 2日間とも気温が高かったため、こまめな水分補給や休憩をとりながら活動をおこなった。事前のスタッフ打ち合わせで、熱中症予防のために水分補給時は必ず目視で確認することを共有し、班のボラを中心に声掛けをおこなった。活動に集中してしまう場面も何度かあったため、活動と休憩の時間を区切る工夫も来年度は検討したい。



白井氏による生きものの説明



振り返りの様子



夜の生きもののお話や振り返りで
使用したホワイトボード